

収入印紙

工 事 請 負 契 約 書

1 工 事 名 称

2 工 事 場 所 秦野市

3 工 期 平成 年 月 日 から 平成 年 月 日まで

4 契 約 金 額 金 円
うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 金 円

5 前 金 払 秦野市公共工事の前金払に関する規則第2条の規定による。ただし、秦野市水道事業にかかるとる公共工事の場合は、秦野市水道事業公共工事の前金払に関する規程による。

6 部 分 払 秦野市契約規則第62条の規定による。ただし、秦野市水道事業にかかるとる公共工事の場合は、秦野市水道事業の契約に関する規程による。

7 契 約 保 証 付す。付保割合（契約金額に対する契約保証の割合）は、10分1以上の金銭的履行保証とする。

免除 秦野市契約規則第39条第1号の2の規定による。ただし、秦野市水道事業にかかるとる公共工事の場合は、秦野市水道事業の契約に関する規程による。

8 解体工事に要する費用等 建設工事が、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第9条第1項に規定する対象建設工事の場合は、（1）解体工事に要する費用、（2）再資源化等に要する費用、（3）分別解体等の方法、（4）再資源化等をする施設の名称及び所在地についてそれぞれ記入する。

9 契約金支払場所 秦野市指定金融機関（ただし、秦野市水道事業にかかるとる公共工事の場合は、秦野市水道事業出納取扱金融機関）

上記の工事について、発注者と請負人は、各々対等な立場における合意に基づき、別添の条項により公正な請負契約を締結し、信義に従って誠実にこれを履行するものとする。

また、請負人が共同企業体を結成している場合には、請負人は、その共同企業体の結成に係る協定に従い契約書記載の工事を共同連帯して請け負う。

この契約を証するため、本書2通を作成し、当事者記名押印のうえ、それぞれ各1通を保有する。

平成 年 月 日

住所 秦野市桜町一丁目3番2号

発注者

氏名 秦野市長 古谷義幸 ㊞

住所

請負人

氏名 ㊞